

笑顔きらきら

登米

TOME

米



登米市市勢要覧

TOME CITY 2017

発行/平成29年2月 宮城県登米市
登米市総務部市長公室

〒987-0511
宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
TEL.0220-22-2090 FAX.0220-22-9164
E-mail koho@city.tome.miyagi.jp
URL <http://www.city.tome.miyagi.jp>



あふれる笑顔
豊かな自然
住みたいまちがここにある



登米市市勢要覧
TOME CITY 2017

きらきら登米は 笑顔いっぱい

登米市は、自然環境に恵まれた「水と緑の里」。
豊かな自然は多様性に富み、季節を問わずに楽しめます。

▶人口/81,930人
▶世帯/27,230世帯
▶面積/536.12km²
平成29年1月末現在



動画で登米の魅力を発信しています!

スマホをかざすと動画が流れます

ARの使い方

GooglePlayストア、またはAppStoreから「COCOAR」で検索、または下のQRコードを読み取り、COCOARアプリをダウンロードしてください。アプリを起動してスマートフォンにかざすと、動画が流れます。

iPhone用 Android用

仙台から	JRをご利用の場合	高速バスをご利用の場合	マイカーをご利用の場合 (登米市役所まで)
仙台駅	仙台駅発(東北本線)	仙台駅前→登米市役所前: 95分 仙台駅前→とよま総合支所: 97分	東北自動車道 築館IC: 25分 東北自動車道 若柳金成IC: 30分 三陸自動車道 登米IC: 15分
仙台空港	仙台空港		
東京から	東京駅		



祭りの熱気と迫力を体感してみて

九日町町内会 菊地 りなさん
▶詳しくは P18

大人も子どもも一緒に作る

米川の水かぶり保存会 亀掛川 隆一さん
▶詳しくは P17

伝承800年 長い伝統のある行事です

新しい芽を育てる大らかな風土です

森風輝龍太鼓 会長 藤原 康さん
▶詳しくは P18

響きの心で 未来に向けて

稲作農家 後藤 輝彦さん ひとみさん
▶詳しくは P5

水がきれいだから米も美味!

田んぼには生き物がたくさんいます

生産農家 加美山 政彦さん
▶詳しくは P10

甘みがあってパリッパリのキャベツを味わって!

味処 あらい 荒井 美智子さん
▶詳しくは P11

はっとはもちもちの食感が魅力です

笑顔きらきら 登米の食

作物の出来がイイと自然と笑顔が...

みずみずしくておいしいキュウリです!

生産農家 吉田 光郎さん たえ子さん
▶詳しくは P9

自然が豊かで のんびり牛ものびのび

肥育牛農家 千葉 正一さん
▶詳しくは P7

食も自然も文化も豊か。笑顔がまぶしいまち、登米。

登米市にはきらきらのそんなたくさんの

笑顔があふれています。笑顔を紹介します。

演技・歌・ダンスみんな楽しいです

劇団ドリーム☆キッズ 菊地 真央さん
▶詳しくは P19

笑顔が輝く地域を目指します!

登米市に住んで1年目 高橋 直也さん ゆきのさん
▶詳しくは P21

子育てしやすい環境です



笑顔きらきら 登米の暮らし

備スτανレー宮城製作所 高橋 由愛さん
▶詳しくは P27

登米は住みやすいまちです

仕事にメリハリがあります

登米町森林組合 竹中 雅治さん
▶詳しくは P16

森林の癒し効果を体験してみて!

笑顔きらきら 登米の自然

千葉 優花さん
▶詳しくは P14

川遊びができる!

長沼はすまつり実行委員会 船頭長 星 義昭さん
▶詳しくは P13

水の里ならではの自然があります

湖面いっぱい咲くハスは見応え十分!

登米森林公園ではバーベキューもできるよ

佐々木 大河くん 佐々木 星音さん
▶詳しくは P15

も く し CONTENTS

笑顔きらきら 【登米の食】

05 米づくり

07 畜牛

09 野菜づくり

11 油麩／はっど

登穀味噌松印醤油／伊豆沼ハム伊達の純粋赤豚／澤乃泉／津山杉の木工品

笑顔きらきら 【登米の自然】

13 伊豆沼内沼／源氏ボタルの里／北上川三滝堂ふれあい公園

15 登米ふれあいの森・森林セラピーもくもくクラフト教室

森林体験マイタケ狩り／植林体験山菜狩り

笑顔きらきら 【登米の文化と歴史】

17 米川の水かぶり／登米秋まつり

日高見流浅部法印神楽／登米能／佐沼鹿踊伝承会

森風輝龍太鼓／綱木之里大名行列

佐沼どんと祭裸参り

19 登米祝祭劇場(水の里ホール)／みやぎの明治村

石ノ森章太郎ふるさと記念館

興福寺六角堂・観音堂壁画「千四孝物語」

笑顔きらきら 【登米の暮らし】

21 子育て

22 福祉介護

23 教育

24 スポーツ推進

25 シティプロモーション

26 協働のまちづくり

27 工業振興

29 市民歌・市民憲章・市章市の花鳥木

環境にも人にもやさしい 米づくりに感じるやりがい



メダカが泳ぐ優しい田んぼ
優しさとこだわりの米届け

後藤さんが所属する水稲部会では、オリジナルブランド米「めだかのおたより」を栽培しています。メダカは英語で「ライスフィッシュ」、お米の魚と呼ばれています。メダカは自然環境のバロメーター。農薬や化学肥料の使用量が多いと生息しません。農薬や化学肥料の使用量を減らすには、土づくりが重要です。

環境保全米から生まれた稲わらを、畜産農家へ餌として提供。家畜の排せつ物から作られた堆肥を、水田に還元します。こうした耕畜連携による資源循環型の土づ

くりを登米市全域で実施しています。後藤さんたちの「めだかのおたより」は農薬を極力使わないため、除草などの作業が増え、さらに時間や手間がかかります。

しかし、後藤さんは「炊き立てはもちろんのこと冷めても食べた時に『おいしい』って言われると頑張れるんだよね」と笑顔を見せます。

食べる人の健康を支え、豊かな自然環境を守る循環型農業は人にも環境にも優しい未来への財産。

登米市農家の優しさ、こだわりが詰まった米をぜひ味わってください。

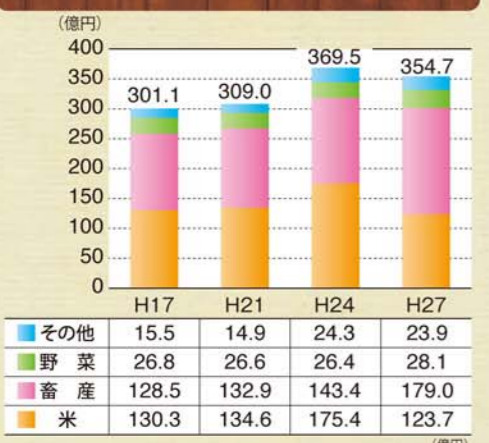
「おいしい」と言ってもらえることが、頑張れる力の源。お米をたくさん食べて米づくりに応援してください。

稲作農家
後藤 輝彦さん
ひとみさん

PROFILE / 2009年から本格的に米づくりに取り組んでいる。ほかに飼料用米を栽培している。



農業産出額の推移



平成27年産 県内の農業協同組合別環境保全米作付実績



平成27年産 県内の農業協同組合別キャベツ販売実績



平成27年産 県内の農業協同組合別キュウリ販売実績



米の食味ランキング「特A」
人と環境に優しい環境保全米

登米市は、東北最大の北上川が貫流するなど、豊かな水環境に育まれた肥沃な登米耕土が形成されています。

この豊かな自然と安全・安心な食を未来へ引き継ぐため、自然との共存を目指した「環境保全型農業」を推進しています。

「赤とんぼが乱舞する産地を目指そう」を合言葉にスタートした「環境保全米」の栽培は登米市が発祥の地。農薬や化学肥料をできるだけ減らし、産地や栽培方法を証明する「栽培履歴簿」の記載をはじめ、食味調査、DNA鑑定、残留農薬分析などを実施した安全で安心なお米です。後藤さん夫妻は「農薬は除草剤のみで使用は1回だけ。肥料は100%有機質肥料を使っています。苦労は多いけど、どこに出しても恥ずかしくない自慢の米です」と胸を張ります。

環境にやさしい米づくりを広く知ってもらうため、首都圏などのイベントや仙台市内の小学校での出前講座など、PR活動に取り組んでいます。

登米市産の「ひとめぼれ」は財団法人日本穀物検定協会の米の食味ランキングでは最高レベルの「特A」を受賞。味も安全も兼ね備えた自慢の米です。

登米の豊かな自然の中で 牛ものびのび育ちます



国内最高級の品質は
農家の日々の努力の結晶

仙台牛は、県内で生産されている黒毛和種の中で、公益社団法人日本食肉格付協会の枝肉取引規格で、最高ランクの肉質A5、B5に評価されたものだけが認定されます。全国に名をはせるブランド牛は数多くありますが、最高ランクに格付けされた

銘柄牛肉は、全国で仙台牛だけ。規格は国内最高級です。その生産量の約4割を登米市産が占めています。

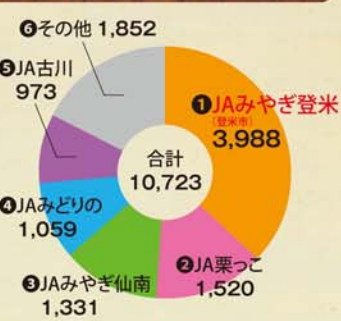
良質な肉用牛を育てるためには、ストレスを与えないことが重要。千葉正一さんは「牛は静かな環境を好み、騒音が苦手です。このようなことから、うちは牛舎を山の上に設置し、静かな環境で飼育しています」と話します。市内の畜産農家の牛舎は常に清潔に保たれ、換気などにも気を配り、二頭三頭大切に育てられています。

また、肉のうま味を出すため、餌にも気が遣われています。環境保全米から生産される良質な稲わらに加えて、黒糖、もち米や飼料米や粉末状の炭を混ぜて与えるなど、より質の高い肉用牛提供のため生産者は日々の努力を惜しみません。「うちでは飼料の中に黒糖や飼料米をあたえています。季節や体調に合わせて与えるものは少しずつ変えない」と細心の注意を払っています。

このように、より良い肉用牛提供のため、畜産農家は日夜努力を続けています。



仙台牛基幹産地農協
出荷実績表(2015年)



出典：仙台牛銘柄推進協議会 単位：頭

全国市町村別農業産出額
肉用牛(2014年)



出典：農水省 市町村別農業産出額(統計) 単位：百万円

牛のにぎりは、すし飯になじみ脂がゆっくり溶け始めた瞬間が一番おいしいです。



割烹若鯨 社長
伊藤 裕之さん
▶問い合わせ
(Tel.0220-22-5283)

登米市迫町の「割烹若鯨」は、すしや海鮮料理に加え、登米産牛を使ったメニューを取りそろえています。「登米市は仙台牛の産地ですが、地元で食べる機会が少ない。食を通じて農家を応援できれば」と牛肉料理を提供。メニューは、牛生肉のにぎり、ステーキ、ローストビーフやユッケ井など豊富。素材のうま味を生かしたこだわりの逸品が並びます。

素材の良さを生かして
こだわりのメニューをそろえ



仙台牛の主要産地
全国トップレベル「登米産牛」

米と並び、県内一の生産量を誇る登米市の「肉用牛」。その生産量は東北随一であり、農協管内だけでも年間約4千頭出荷されています。2014年の肉用牛市町村別産出額は67億円で、全国8位、本州では1位になりました。飼育農家数約800戸、飼育頭数は約2万5千頭、県内トップとなっています。登米市は全国に誇れる「牛の里」です。

登米市で飼育されている肉用牛の多くは黒毛和牛で、二定以上の条件を満たした上質なものは、超高級ブランド牛肉「仙台牛」として出荷されています。

愛情をたっぷり注いで
育てた自慢の牛。
最高の霜降り牛肉を
皆さんにお届けします。



肥育牛農家
千葉 正一さん

PROFILE/1998年から本格的に始め、当初は酪農からスタート。現在は肉用牛100頭を飼育している。

もっちり
牛
ま
つ
り



登米産最高級黒毛和牛を思う存分味わえる「もっちり牛まつり」。まつりに提供される和牛は、餌にもち米が混ぜられており、肉に独特の香りと甘みがあります。一晩かけて焼き上げられた「みなみかた産もっちり和牛の丸焼き」は、約千人に無料でふるまわれます。お楽しみ抽選券付きのチケットを購入すれば、牛肉と交換でき、会場内で焼き肉を楽しむこともできます。





澄んだ環境がみずみずしい

キュウリとともに登米市を代表する野菜の一つで国の指定産地となっているキャベツ。原産地にちなんだ「地中海キャベツ」のブランド名で仙台市や関東圏に出荷しています。生産量はキュウリと同様に県内。気温の寒暖差がある内陸性の気候が、甘味ののったおいしいキャベツを育て

やさしい土づくりにこだわり
手間と愛情を注いだキャベツ



「やわらかくておいしいね」
の声が私のやりがいです。

生産農家 加美山 政彦さん
PROFILE/2006年から父から引き継ぎキャベツづくりに取り組んでいる。「明るく楽しく仕事をする」がモットー。



また、宮城県からエコファーマーの認定を受けた多くの生産者が、環境にやさしい土づくりにこだわって栽培しています。手間と愛情がたっぷり注がれたキャベツはみずみずしく、そのおいしさは格別です。加美山さんは「マニュアルどおりに作っているだけなだけどね」と笑顔で話し、「買う人の身になって作るが私の信条です」と力強く語ります。

野菜の源

量も味も県内一のキュウリ
こだわりの逸品を届けます

年間3千トン以上を出荷し、約8億円の売り上げなど県内一の生産量を誇る登米市のキュウリ。国の指定産地となっており、県農産物品評会で最高賞を受賞する農家がいるなど品質も折り紙付きです。漫画家石ノ森章太郎先生の生誕地であることにちなみ、「サイボーグ009」とも



キュウリ

形も良く、
おいしさも抜群。
自慢のキュウリです。

生産農家 吉田 光郎さん
たえ子さん

PROFILE/1975年からキュウリづくりに取り組んでいる。現在は息子さん夫婦と一緒に専業農家で経営。



きゅうり」として出荷しています。

キュウリは、夏野菜のイメージがありますが、登米市は年3回収穫（春、夏、秋）。また、食べられるものを原料とした独自の有機肥料を使用している農家も多く、おいしさに安全がプラスされています。吉田さんは「昔ながらの味のキュウリづくりにこだわっています。これからもそれは変わりません」と話します。

ナスづくりは手間がかかる
けど収穫の喜びがひとしお

統一したブランド「美・茄子（びーなす）」として主に仙台市場に出荷されている登米市のナス。主な品種は「くろべえ」。光沢が優れ、日持ちもよいことから、市場から好評を得ています。

5月から10月ごろまで収穫され、8月ごろにピークを迎えます。最近



有機肥料で土づくりし、
味、色艶ともに自慢の「くろべえ」を
食べてみてください。

生産農家 曾根 正壽さん

PROFILE/2016年から仲間誘われ、ナスづくりに取り組んでいる。ほかにトマト、つぼみ菜、オクラなどを栽培している。

では、天敵を利用したIPM (Integrated Pest Management: 総合的病害虫・雑草管理)を導入する生産者も多く、薬剤による防除回数を減らし、環境に配慮した、ナスの生産に取り組んでいます。曾根さんは「70歳を過ぎても新しい作目に取り組みるのはありがたいこと。行政や農協の支援体制があったからこそできました」と笑顔で話します。

食べるのがもったいない
宝石のようなイチゴ

登米市のイチゴ栽培は二期作。冬から春にかけては、宮城県で2008年に品種登録されたオリジナル品種の「もういっこ」を中心に「とちおとめ」や「紅ほっぺ」を作付けします。夏場には、四季成りイチゴの「すずあかね」などを組み合わせ、ほぼ1年を通して出荷されています。特に「もういっこ」は糖度と酸度のバランスが絶妙。すっきりとした甘さから、つい「もう1個」と手を伸ばしたくなることから名付けられたものです。

子どもから、大人まで
安心して食べられるイチゴ
づくりにこだわっています。

生産農家 千葉 正規さん
良子さん

PROFILE/1988年からイチゴづくりに取り組んでいる。ふるさと納税謝礼品でも人気を集中。



千葉さんは、「害虫対策は農業に頼らず天敵農法を採用しています」と自信を持って話します。



イチゴ

素材生かした登米市の食は「日常」が「極上」

油麩

独特のうま味と風味ある
無添加の自然食品

油麩は、登米市に古くから伝わる食材で、小麦の蛋白質成分「グルテン」を植物油で揚げて作る、全国でも珍しい「揚げ麩」です。豊かな風味は、油麩独特のもの。他の食材のうま味を吸い込み、味に深みが増し、料理を二層引き立てます。ふるさとの心と技が育て上げた「伝統の逸品」。無添加の自然食品ですので、安心して召し上がりいただけます。油麩を使用した油麩丼は、Bリーグランプリに参加するなど、全国から注目を浴びています。



油麩・はっとの動画が見れます！
スマホをかざすと動画が流れます！
※使い方は2ページでご確認ください。

栄養たっぷりヘルシーで体に優しい味です。

味処 もん 海老名 孝子さん
PROFILE / 元祖油麩丼の店。肉が苦手な人のために考案され広まった。
▶ 問い合わせ (Tel.0220-52-3161)

な風味は、油麩独特のもの。他の食材のうま味を吸い込み、味に深みが増し、料理を二層引き立てます。ふるさとの心と技が育て上げた「伝統の逸品」。無添加の自然食品ですので、安心して召し上がりいただけます。油麩を使用した油麩丼は、Bリーグランプリに参加するなど、全国から注目を浴びています。

はっと

歴史と風土が育んだ
地域食豊かなお袋の味

もちもちの食感がやみつきになる、登米市に古くから伝わる郷土料理「はっと」。「はっと」は、小麦粉料理の一種です。小麦粉に水を加



野菜をふんだんに使い、優しい味をモットーに作っています。

味処 あらい 荒井 美智子さん
PROFILE / 市内で唯一のはっと専門店。祖母から引き継いだ味が好評。
▶ 問い合わせ (Tel.0220-34-7079)

え、耳たぶ程度のかたさになるまでよく練り、適当な時間寝かせる。そして、熟成した生地を指で薄く伸ばしながらしょうゆ仕立ての汁で煮込んだり、お湯でゆでて、あずき、ずんだなどに絡めたりします。だしや具材は、登米地方の中でも地域や家庭によつてさまざま。地域の特色が味や具材で表現されたお袋の味です。

登米ブランド 認証品



環境保全型農業により生産された作物などを厳選し、出荷基準や品質管理にもこだわったものを「登米ブランド認証品」として認証しています。

認証品目は、米、野菜、肉類、農産物加工品、木工芸品など。環境保全型農業への取り組み(有機JAS、環境保全米、県認証、エコファーマーの認証)や品質・出荷管理(GAP(基礎GAP、JGAP)、トレイサビリティの確保、出荷基準の設定、遵守等)の認証基準を定め、これに沿った生産者から申請されたものを認証しています。

このようないかなる基準をクリアし「安全・安心の印」「品質管理の証」を持った登米ブランド品を、全国の皆さまにお届けします。

登穀味噌・松印醤油

百余年の伝統の技が生きる
こだわりの調味料

日本食に欠かせない「みそ」と「しょうゆ」。ヤマカノ醸造がある登米町は古くから醸造業が盛んな地域です。同社は明治42年に創業され、百余年の歴史を誇る醸造会社です。

「本場仙台味噌・醤油鑑評会」で、2010度からみそ部門で5年連続1位を受賞。このほかに数多くの賞を受賞しています。コクとうまみが自慢の「ヤマカノ」の「みそ」「しょうゆ」を一度ご賞味ください。



▼問い合わせ/ヤマカノ醸造株式会社
(Tel.0220-52-2511)

伊豆沼ハム・伊達の純粋赤豚

熟成に時間をかけ
素材の良さを引き出す



伊豆沼農産で、ドイツマイスターの技術をベースに作られている伊豆沼ハム。ハム・ソーセイジづくりに必要な添加物をできる限り控え、熟成に時間をかけて作られています。また、宮城県が系統造成した、「しもふりレッド」を純粋交配させて生産した「伊達の純粋赤豚」を使った加工品も逸品。生ハム、メンチカツやハムソーセイジにも加工しており、やわらかくジューシーな味わいと舌触りの良さは絶品です。

▼問い合わせ/伊豆沼農産株式会社
(Tel.0220-28-2986)

澤乃泉

良質な米と水から生まれた
全国で評価される本物の酒

地元の農家が栽培したこだわりの米と、深井戸水源から湧き出る良質の地下水を使い、確かな職人の技が作り出すみちのくの銘酒「澤乃泉」。ほどよい香りとど越しの良さが特徴のお酒で、多くの人気を集めています。

各種品評会で数多く上位入賞を果たしている石越醸造。米どころ登米市から生まれた米のうまさが見える「澤乃泉」をぜひ味わってください。



▼問い合わせ/石越醸造株式会社
(Tel.0228-34-2005)

津山杉の木工品

ぬくもりと優しさを感じる
自然素材のモノづくり



クラフトショップもくもくハウスでは、登米市の名産品として木目の美しい津山杉を加工した矢羽木工品を販売しています。手間を掛け、丹念に接着加工された矢羽模様の家具や、さまざまなオリジナル木工品は見た目の美しさ、触れたときの柔らかく優しい感触、独特の杉の香りがあり、心が和みます。

2013、2014年に2年連続グッドデザイン賞を受賞。その品質は全国が認めています。

▼問い合わせ/クラフトショップもくもくハウス
(Tel.0225-69-2341)



水資源に恵まれた水の里 植物も生き物も多彩

豊富な水資源の「水の里」

国際A級ボート場でもある長沼

国内で唯一の常設2000メートル、8レーン公認で日本最高峰のボート場である長沼はハスの景勝地でもあります。夏には湖面一面にハスが咲き乱れ、その景観は極楽浄土を思わせる素晴らしい景観です。

ラムサール条約登録湿地 伊豆沼・内沼

伊豆沼・内沼は、国際的にも有名な渡り鳥の飛来地で、白鳥やガンをはじめとする渡り鳥が多数越冬します。特にマガンは、日本に渡ってくる8割が飛来しています。冬でも全面凍結することはほとんどなく、水鳥の楽園です。早朝の飛び立ちや夕方のねぐら入りなどの雁行は壮観です。

源氏ボタルの里

東和町米川地区の鱒淵川に群生する源氏ボタルは国指定の天然記念物。毎年6月下旬から7月上旬にかけて、清流を舞台に源氏ボタルが乱舞する幻想的な世界を味わおうと、県内外から多くの人々が訪れます。

地域では「源氏ボタル保存会」や「ホタル愛護少年団」などを結成し、草刈りやごみ拾いなどに取り組み、保護活動が続けています。こうした地域の努力と豊かな東和町の自然環境のもと、ボタルが守られています。

北上川

岩手県岩手郡御堂にある「弓弭の泉」を源流に、岩手県と宮城県を流れる一級河川で、登米市の東側を北から南に流れています。流路延長24.9キロメートル、流域面積1万1500平方メートルは、東北最大であり、全国4番目の河川です。その流域には広大で肥沃な登米耕土が形成され、県内でも有数の穀倉地帯となっており、基幹産業である農業の発展を支えています。



北上川



源氏ボタルの里



夏の長沼ハスマつり

登米市の自然の動画が見れます！
スマホをかざすと動画が流れます！
※使い方は2ページでご確認ください。



三滝堂ふれあい公園



早朝の伊豆沼



伊豆沼・内沼 サンクチュアリセンター

伊豆沼・内沼生態系の「水」をテーマに、水鳥や水生動植物を紹介しています。2016年に実践・体験型の環境教育拠点施設としてリニューアルオープン。展示スペースには、大型水槽を含む24個の水槽があり、沼に生息する十数種類の淡水魚等の生きた姿が見られます。施設内には無線LANを完備。設置してあるタブレット端末で生物の検索ができるほか、環境に関するパネル、伊豆沼・内沼の自然写真を展示しています。

ハスの実は仏の花なので
極楽浄土がある西を見て
頭を下げます。

長沼はすまつり実行委員会
船頭長
星 義昭さん

PROFILE
2010年から船頭長を務めている。バス会社で運行管理の経験があり、船も安全運転を徹底。

三滝堂ふれあい公園

東和町米谷地区を流れる大関川の中流にあり、水の流れは緩やかで、子どもたちの水遊び場として最適。キャンプや芋煮会などで、四季を問わず大勢の人たちが訪れます。老若男女問わず、幅広い年代で楽しめる公園です。

公園内には、ピクニックなどに利用できる芝生の広場や遊具があり、子どもたちに大人気。併設されている「ふくろうの森キャンプ場」は、テントサイトのほか炊事棟などを完備しています。





森林のセラピー効果で リラックス&リフレッシュ

総面積の4割強が森林
森林資源で心と体に元気を

登米市は、森林資源も豊かなまち。総面積5万3600haのうち、4割強の2万2200haが森林で占められています。農業だけでなく、林業も盛んで「杉」の産地としても有名です。

豊富な森林資源を活用して、キャンプ場の設置、森林浴、キノコや山菜狩り、木工品の体験教室などを、多数開催しています。



登米ふれあいの森 森林セラピー

宮城県で唯一「森林セラピー基地」として認定されている「登米ふれあいの森」。園内には8つのコースが整備されており、四季折々の景色を楽しみながら散策できます。

柔らかな土の感触や木立の葉が風に揺れる音など、日常では出会えない新鮮な驚きがいっぱい。自然に身を委ねて、心地よい時間を過ごしてください。

森林が持つ癒しの効果を存分に体験できるよう、ガイドツアーや健康づくりプログラムも実施しています。

もくもくクラフト教室

クラフトショップもくもくハウスには、津山産の杉の矢羽集成材でつくった木工品が、数多く展示・販売されています。クラフト教室では、コースターや小物入れなどが手軽に作ることができます。また、親子工作教室も開催しています。木のぬくもりを感じる、自分だけの木工品を作ってみてはいかがでしょうか。



登米のキャンプ場には
コテージもあるよ

木や土に
ふれてたくさん
遊べるよ!!



**市有林FSC森林認証
FM認証を取得**
登米市は国際的な森林認証を取得。認証木材を活用した新たな木製品の製品化等を推進することにより、地域林業・木材産業の活性化に取り組んでいます。
2016年12月、登米市の市有林約2700haについて国際的機関FSC（森林管理協議会、本部・ドイツ）による森林認証FSC認証（森林の適切な管理に関する認証）を取得しました。
今後は、市内製材所等のCOC認証（認証森林から生産された木材の加工管理の認証）取得に取り組み、認証木材、木製品を供給し、産地化を推進します。

森林体験・マイタケ狩り

東和町特産のマイタケは、自然栽培でより天然に近い状態で栽培されています。東和町米川の「きのこの森」ではマイタケ狩りが楽しめます。

下刈作業などの森林体験と合わせて、自然の恵みを満喫し、リフレッシュしてください。

植林体験・山菜狩り

参加者は「緑のボランティア」として、ヤマザクラの苗木の植林体験ができます。豊かな自然の中で、未来の森づくりをします。植林活動後には「山菜の森」で、山うど狩りも体験できるので、ご家族そろって楽しめます。

伝統を受け継ぎ 次の世代へ伝える登米魂



米川の水かぶり

地域の防火と発展のためにこれからも守ってまいります

地域の習わしを伝える歴史ある火伏行事

東和町米川五日町地区に古くから伝わる火伏行事の「水かぶり」。毎年2月の初午に行われ、国の重要無形民俗文化財に指定されています。地区の男たちがわらで作った装束を身に付け、顔にかまどのすすを塗り、神様の使いの化身として、家々の屋根に桶の水を掛けながら町中を走り抜け、火伏を祈願します。また、男たちが身に付けているわらを抜き取り、屋根に上げておくと、火伏のお守りになると言われています。来訪神行事として、秋田県男鹿市の「なまはげ」などとともに、2018年のユネスコ無形文化遺産登録を目指しています。(2017年2月現在)



米川の水かぶり保存会 亀卦川 隆一さん
PROFILE / 登米市東和町米川在住。30歳の時から米川の水かぶりに参加。厄年には梵天を持って大役をこなしました。

地域の人たちが毎年手作りする豪華絢爛な山車が練り歩く

「登米秋まつり」は、登米地区の総鎮守登米神社の秋季例祭で、約340年以上続いています。登米伊達家の歴史と文化を継承した山車行事は、岩山と人形を基調とした飾り付けが施され、仙台藩時代の山車祭りの伝統や特徴をよく表現しており、宮城県無形民俗文化財に指定されています。にぎやかなおはやしに乗り、山車や武者行列が練り歩くさまは、当時のにぎわいを思わせます。



笛の音が聞こえるとわくわくします

九日町町内会 菊地りなさん
PROFILE / 秋まつりでは小1から太鼓を担当。「大人になっても、秋まつりに参加します」



登米秋まつり

佐沼どんと祭・裸参り

無病息災、五穀豊穡、商売繁盛を祈る「どんと祭」と「裸参り」。1978年、宮城県沖地震からの復興を願い始まった「裸参り」は、白鉢巻、白サラシを巻き白足袋、わらじの装束に身を包み、たいまつを持って参拝します。



綱木之里大名行列

1504(永禄7)年始まったとされる「綱木之里大名行列」。ホラ貝を合図に、騎馬先陣、道中奉行、てんぐと獅子、稚児行列などが練り歩く一大歴史絵巻です。中でも3メートルを超える長さの毛槍を投げ渡す「お取替え」は必見です。



森風輝龍太鼓

森風輝龍太鼓は1995年に迫町森(現登米市)で結成。名称には森地区から新しい風を吹かせ、生き生きと輝くようにとの思いが込められています。市内イベントなどで幅広く活動しており、力強いばちさばきで多くの人を魅了します。



佐沼鹿踊伝承会

江戸時代初期から、佐沼城(鹿ヶ城)にその踊りを奉納していたという佐沼鹿踊。鹿頭をかぶり、腹に太鼓、背にササラという長い竹を背負い演舞する勇壮な太鼓踊系の芸能です。現在は、小学生の後継者育成にも力を注いでいます。



登米能

登米能は、藩政時代に登米伊達家に取り入れられた能「大倉流」がその始まりです。以来、260年間受け継がれ、現在は「登米謡曲会」が登米秋まつりで「薪能」として演じています。暗闇の中、かがり火に照らされる薪能は、まさに幽玄美です。



日高見流浅部法印神楽

日高見流浅部法印神楽は、岩手県藤沢町(現一関市)西口の「西口流神楽」と中田町(現登米市)上沼八幡山の「加茂流神楽」を合わせて明治5年に「日高見流」と称するようになりました。現在は県の無形民俗文化財に指定されています。



古きを守り新しきを創る 文化と歴史の創造発信



ドリーム☆キッズ



夢フェスタ水の里



登米祝祭劇場
(水の里ホール)

登米祝祭劇場(水の里ホール)

登米市の伝統文化を次世代に継承し、新しい文化の芽を育てていくための拠点、登米祝祭劇場。市内唯一の子どもミュージカル劇団「ドリーム☆キッズ」は、運営や広報活動、舞台道具や衣装の制作など、ほとんどの役割を保護者や地域のボランティアが担っています。

また、地域に伝わる文化や歴史を題材にした市民劇場「夢フェスタ水の里」は、舞台に関わる全てが地域住民の手によるもので、地元ならではの熱演が多く、感動を呼んでいます。

さらに、市最大級の音楽イベントとして公募による、とめ市民合唱団とゲスト音楽家との「ときめき市民コンサート」など「市民が主役」のイベントを開催しています。



終わった後の
感動は最高です。

みやぎの明治村

登米市の登米町には教育資料館(国指定重要文化財)登米高等尋常小学校校舎)警察資料館(県指定文化財)旧登米警察署庁舎)のハイカラな洋風建築物、廃藩置県時に置かれた水沢県庁記念館(旧水沢県庁庁舎)や重厚な蔵造りの商家など、明治をしのばせる建物が多く現存しています。

その佇まいから「みやぎの明治村」と呼ばれています。特に教育資料館は明治中期に建てられた小学校で素木造り、コの字形、外廊下。足を踏み入れた瞬間に明治時代へタイムスリップします。



教育資料館

「昔の給食」を体験できます。



教育資料館
旧登米高等尋常小学校学校給食体験
高橋 洋校長

登米市中田町にある石ノ森章太郎ふるさと記念館は「仮面ライダー」「サイボーグ009」など、数々の名作を世に送り出した漫画家石ノ森章太郎さんの作品や宝物、トキワ荘時代より使いつづけたペン軸などの愛用品が展示されています。

また、著名な漫画家が住んでいたことで有名な「トキワ荘」の部屋を再現。記念館の近くにある、石ノ森章太郎さんが少年時代を過ごした「生家」には、幼少時代の落書きや高校卒業まで使用した机などが展示され、先生が愛した原風景を体験できます。

石ノ森章太郎ふるさと記念館



石ノ森章太郎ふるさと記念館

一年通して楽しめます。
すぐ近くに先生の生家もあります。

記念館を訪れた家族・千葉さん一家

興福寺六角堂・観音堂壁画二十四孝物語

登米市南方町にある坂上田村麻呂創建と伝えられる興福寺観音堂。その外壁には二十四孝物語と呼ばれる中国の親孝行物語が、色鮮やかに刻まれています。

また、観音堂の奥には33年に一度だけ開帳される「本尊・秘仏十一面観音菩薩」がまつられています。

さらに、興福寺境内には明治17年に建築された二階建ての土蔵造りの六角堂があります。洋風の建築様式が加えられた斬新な建築物で、一見の価値があります。



興福寺観音堂

大きな絵に感動しました。ぜひ見てみてください。

南方小学校
及川蓮太郎くん



笑顔きらきら
登米のくらし
福祉・介護

上野 洋子さん(74才)

ご家族
長男上野和宏さん(48歳)と
2人家族。

心に寄り添った福祉・介護に 家族も安心

生活や仕事などに困っている人 に寄り添い自立を支える

生活や仕事などに困っている人の自立に向けて支援するため、相談窓口の「しごと・くらし相談センターともまち登米」を設置しています。

ともまち登米では、一人一人の状況に合わせた支援プランを作成。相談者に寄り添いながら、解決に向けて支援しています。

相談支援のほか、就労による自立を目指すため、基礎能力を養う就労準備支援にも取り組んでいます。



しごと・くらし相談センターともまち登米

「介護サービス」と「介護予防」の推進。行政・地域が連携し支援

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護保険や福祉サービス、介護予防事業や認知症ケア体制の充実などとともに地域で支える取り組みを進めています。

「介護保険」は、要介護者が介護給付サービス、要支援者が介護予防サービスを受けられます。

「介護予防」は、地域で介護予防ボランティアの育成やミニデイサービスを実施。

高齢者の生きがいづくりや心身機能の維持・向上に努めるほか、認知症予防に向け認知症カフェの開催支援や認知症サポート養成講座を実施しています。上野洋



住み慣れた自宅で
安心して過ごせるよう
お手伝いします



子さんは、足が不自由で生活に杖が欠かせません。「息子は知的障害があり、親子2人でケアマネージャーや相談支援専門員の皆さんにお世話になっています。介護、障害者支援制度と地域の優しさに助けられています」と話します。



笑顔きらきら
登米のくらし
子育て

登米市に住んで1年目
高橋ゆきのさん(30才)

ご家族
夫高橋直也さん(30歳)、長男侑誠くん
(2歳)、長女優月ちゃん(7カ月)の4人
家族

みんなで子育てを支えます ママを一人にさせません

学びと保育の環境づくり 認定こども園

小学校就学前の子どもに、質の高い教育・保育を一体的に提供するとともに、待機児童の解消に向けて「認定こども園」の設置を進めています。

「認定こども園」は、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持つ施設で、地域の子育て支援施設としての機能も兼ね備えています。

運営にあたっては教育と保育の両面から各種子育て支援事業の充実に取り組んでいます。



米谷幼稚園・米谷保育所

地域全体で支える子育て 子育て世代に優しいまち

登米市の未来を支える「子どもたち」。その子どもを安心して生み育て、健やかに成長できる環境づくりが欠かせません。登米市では、結婚・妊娠・出産・子育てなどの各ステージで、切れ目のない支援に取り組んでいます。

妊娠時は、安心して出産ができるようお母さんたちを対象にした「プレママサロン」、産後は、健診に加え育児相談などができる「こんにちは赤ちゃんサロン」。出産時は満1歳まで使える「子育て用品支給券」の交付、第3子以降への「誕生祝金」の支給、子育てでは地域で子どもを預かる「ファミリーサポートセンター事業」などを実施して



2016年に県内の他市から転入してきた高橋ゆきのさんは「登米市は、予防接種や健診の助成が手厚いですね。また、自分の体調や都合などで、子どもの相手ができないときは子育て支援センターがあり、友だちや先生が遊んでくれるので助かります」と話します。

ママも子ども
仲良しです。





笑顔きらきら
登米のくらし
スポーツ推進

アイエス総合
ボートランド
(宮城県長沼ボート場)

ボートコースは、2000メートル、8レーン。日本ボート協会のA級コースとして認定されている。

市民の体と心に汗きりり 年代超えてスポーツ楽しむ

9つのまちでそれぞれの 特色ある活動を展開

市内には9つの町域に、総合型地域スポーツクラブを設置しています。「いつでも」「どこでも」「誰でも」いろいろなスポーツを、みんなで楽しむ「まちのコミュニティ」です。

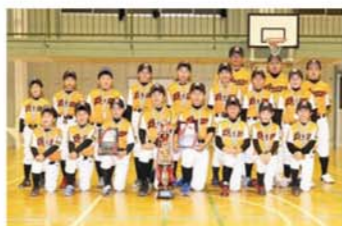
各町域で自主運営されており、ウォーキングやビニールバレーボールなど一般的なものから、アーチェリーやパークゴルフなど、それぞれに特色のあるスポーツ活動が展開されています。



スポーツは心と体を健康にし、人生をより充実したものにします。また、地域と地域をつなぐコミュニティづくりにも、重要な役割を果たしています。

登米市では、年代を問わずそれぞれのステージでスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでいます。主に小・中学生が加入するスポーツ少年団は、野球、サッカー、剣道、空手やトランポリンなど、種目も充実し、2017年現在、113団体2024人が登録しており、各種大会で優秀な成績を収め、日本代表にも選出されています。

また、地域でスポーツを楽しめるよう、市内に9つの総合型地域スポーツクラブを設



すごく
楽しいです!

スポーツで充実した人生を 生涯スポーツ環境を整備

スポーツは心と体を健康にし、人生をより充実したものにします。また、地域と地域をつなぐコミュニティづくりにも、重要な役割を果たしています。

置。年齢、性別を問わず、一人一人の趣向にあったスポーツができます。

スポーツ施設では、登米総合体育館、東和総合運動公園、そして、長沼ボート場など、全国大会や国際大会も開催できる施設を備えています。



笑顔きらきら
登米のくらし
教育

市内中学校での
キャリアセミナー

市内の中学校がさまざまな職種の職業人を招き、直接話を聞いたり、体験したりして早い段階から職業観を持たせる取り組み。

学校・家庭・地域が一体となって 子どもを守り育てる

子どもだけではなく 家族で草の根の交流

国際感覚豊かな青少年育成のため、海外派遣や受け入れなどを実施しています。派遣事業は、海外姉妹都市の米サウスレイク市、加ヴァーノン市および友好協定締結先の州立高校が所在する豪メリバラ市へ中高生を派遣し、本市の魅力発信と異文化を学んできます。

受け入れ事業では、海外派遣事業に参加した子どもたちや登米市国際交流協会などが受け入れに協力しており、家族ぐるみでの交流に発展しています。



登米市では、学校と地域が連携・協働しながら、未来を担う子どもたちの成長を支える取り組みを進めています。

2012年度から各中学校で実施している「キャリアセミナー」は、自分の将来を考える特色ある取り組みです。市内外の職業人が、仕事や生きがいについて具体的に話す講話は、子どもたちに夢や憧れを持たせ、未来を切り拓くきっかけにもなっています。2015年には、この取り組みが認められ、「第9回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受けました。

また、地域住民や保護者が一定の権限と



コミュニティスクールではつと作り

将来の目標が
決まりました



責任を持つて学校運営に参画する「コミュニティスクール」にも取り組んでいます。学校課題や地域課題を共有しながら、教科書では学べない知識や郷土の知恵を地域のボランティアから学んでいます。さらに、次代を担う国際感覚豊かな青少年の育成を目的に、中高生を対象に「青少年海外派遣事業」も実施しています。

登米市の未来担う子どもたち 地域とともに人材を育てる

責任を持つて学校運営に参画する「コミュニティスクール」にも取り組んでいます。学校課題や地域課題を共有しながら、教科書では学べない知識や郷土の知恵を地域のボランティアから学んでいます。さらに、次代を担う国際感覚豊かな青少年の育成を目的に、中高生を対象に「青少年海外派遣事業」も実施しています。



笑顔きらきら
登米のくらし
協働のまちづくり

浅水ふれあいセンター
浅水コミュニティ
運営協議会

「オレンジカフェ開催」
地域の高齢者がカフェをしながら
気軽に相談する機会を設けている。

自ら輝く地域に向けて 地域主体のまちづくり活動

市民活動団体の孫の手に 細やかな支援を心掛けています

「とめ市民活動プラザ」は、市内の市民活動団体などの活動支援を目的に、2012年にオープンしました。

支援の内容は①市民活動団体運営などについて、専門家による月1回の無料相談会の実施②各団体の取り組み状況や各種講習会などの助成金情報を紹介③団体間の連携や情報交換を目的にした交流会開催など、市民皆さんが、より生き生きと活動できるようお手伝いをしていますので、気軽にお越しください。



浅水コミュニティ
運営協議会のみなさん



常に事業を見直し
実施しています



「地域のことは地域で」「自立した地域づくりを实践」
より良いまちに向けて、市民と行政がともに課題に向き合い、それぞれの役割の中で責任を果たしていく「協働のまちづくり」に合併当初から取り組んできています。浅水コミュニティ運営協議会は2005年から、浅水ふれあいセンター（公民館）を自主運営、管理しています。浅水地区は、1971年にモデルコミュニティ地区の宮城県第1号指定を受けるなど、古くから自発的なコミュニティ活動を展開しています。実施事業は前例踏襲せず、新しい企画や工夫を盛り込み「常に「また参加したい」と思われる事業を心掛けています」と話す及川豊二センター長。地域の維持、活性化

に向けた事業の開催や地域の課題解決にも積極的に取り組んでいます。一例として、災害時の安否確認用の「緊急時・連絡通報カード」を毎戸へ配布するなど、「地域の問題は地域で解決」を合言葉に、自立した地域づくりを実践しています。



笑顔きらきら
登米のくらし
シティプロモーション

魅力発掘、ワークショップ
高校生から大人までが参加。市内の食・自然・文化や歴史など豊富な地域資源を掘り起こす。掘り起こした書類がもととなり、キャッチコピーが生まれた。

登米市の魅力と価値を 官民一体で発掘・発信

登米市の魅力や移住 定住支援情報を随時更新

シティプロモーションの取り組みは、専用ホームページやテレビなどのマスメディアと連携し、全国に向けて情報発信しています。

専用ホームページでは、登米市の魅力、情報やPR動画などを紹介。また、移住・定住に関する各種支援情報を掲載しています。随時、最新の情報に更新していますのでご覧ください。

URL <http://tome-pr.jp>



市民と共にまちをPRし
人口の増加に取り組む
登米市では、移住・定住の促進や交流人口の増加に向けて、市のイメージ、知名度を向上させる「シティプロモーション」に取り組んでいます。これらの取り組みについては、高校生から大人までが参加した「魅力発掘ワークショップ」を開催。このアイデアから、登米市キャッチコピー「うまし、たくまし、登米市」とロゴマークが生まれました。また、市内の名所を舞台にPR動画を制作。こちらにも多くの市民がエキストラとして参加し、官民体となったPR活動に取り組んでいます。
移住・定住の促進に当たっては、住宅取得に係る助成や移住体験など、各種支援体

登米市PR
動画が見れます！
スマホをかざすと動画が流れます！

※使い方は2ページでご確認ください。



「GO! Hatto
登米無双」
好評です！



制を整備。さまざまなニーズに対応するため、住まいや働く場の確保、子育て等の支援に取り組んでいます。
今後も、「あふれる笑顔豊かな自然 住みたいまち」とめの実現に向けて、官民一体となった取り組みを続けていきます。



動画に出演した
八乙女 百合さん

活気ある職場でいきいきと働く

整備した工業団地に進出するなど、地元雇用に貢献する企業。年々企業が増加し、地域経済の活性化につながっています。



株式会社スタンレー宮城製作所

スタンレーグループは高品質な製品をお客様に届けられるよう清潔な環境でモノづくりをすることにこだわっています。さらにお客様に満足いただけるよう常にモノづくりの基本を忘れず、効率よい生産活動につなげるグループ独自の生産革新活動(SNAP)にも取り組んでいます。



1970年スタンレー宮城製作所として登米郡中田町(現登米市)に設立。2015年同市迫町に移転し、電子機器部品や自動車用ランプなどを製造。「未来を照らす光を創る」を目指す。



平均年齢が若く、人間関係もよい、明るい職場です。

高橋 由愛さん(20才)

PROFILE
市内高校卒業後、入社2年目。
生産ラインでの製品検査を担当。
趣味は旅行



株式会社ベジファクトリー

東日本大震災を機にこれまでの野菜栽培に加えて加工に取り組むことを決意し、新会社を設立。ここでカット処理した野菜は、惣菜向けに三和食品へ送り、かき揚げなどの惣菜として販売されています。登米市は米だけではなく、各種野菜も有数の産地。これからも地元産の野菜をより多く使っていきます。



登米市中田町の農業法人中田サンファームと山形県の三和食品が出資し、主に市内産・県内産の加工野菜の製造・販売を目的に2012年12月設立。

仕事もプライベートも充実しています。



鈴木 智明さん(30才)

PROFILE
市外高校卒業後、入社3年目。
現場管理担当。
趣味はカラオケ

沿岸と内陸結ぶハブ都市として注目 企業に選んでもらえるまちに

市独自の各種支援体制を整え 新分野の企業にも誘致活動

企業誘致には、長沼工業団地や市独自の誘致支援制度を整備するなど、積極的に取り組んでいます。これまで、トヨタ東北株式会社をはじめとした自動車関連企業や農業法人などを誘致。11社が操業し、順調に事業を展開しています。

現在、長沼第2工業団地の整備を終え、今後は自動車関連産業だけではなく、食品関連や高度電子機械産業など、新たな事業分野の企業にも誘致活動を実施していきます。

三陸道、東北道の接続進む

登米インター付近に工業団地を整備中

三陸自動車道は市東部にあり、市の西側に沿って東北自動車道が隣接しています。三陸自動車道のインターチェンジは

市内と近接に合わせて5箇所設置され、仙台港や仙台空港のある沿岸部へのアクセスが良好です。

現在、三陸自動車道と東北自動車道を結ぶ「みやぎ県北高速幹線道路」が順次整備。両道路のアクセスも向上しており、登米市は沿岸と内陸を結ぶハブ都市としても注目されています。

また、三陸道登米インター付近に、(仮称)登米インター工業団地を整備しており、2019年分譲開始を予定しています。

交通アクセス



市章



デザインは、登米市の頭文字、ひらがなの『と』をモチーフにデザイン化をしています。「水・緑・太陽」、「豊かな実り」、「元気な市民」をイメージするとともに、未来に向かって飛翔・発展する登米市、登米市民を力強く表現しています。

登米市の花鳥木



市の花「さくら」

「さくら」は、公園、学校、寺社など、登米市内いたるところで見られ、名所も多く、春を告げる花として、世代を超えて親しまれていることから、「さくら」を市の花としたものです。



市の鳥「はくちょう」

「はくちょう」は、伊豆沼をはじめ、登米市内各地に飛来し、冬の使者として、また、家族や仲間の絆を大切にする鳥としても知られており、登米市の自然・環境保護の象徴として、「はくちょう」を市の鳥としたものです。



市の木「すぎ」

「すぎ」は、里山や寺社、いぐねなど、身近に生育し、地域産材として広く知られており、まっすぐ伸びる姿を登米市の発展に重ね合わせ、「すぎ」を市の木としたものです。

登米市市民歌

作詞／松尾江里也
作曲／松長誠 編曲／小山和彦

一 そよぐ稲穂は しあわせ色だ
豊かな水は 夢色だ
はくちよう飛び来る 絆の里に
咲くは桜か 歓びか
ああ 登米市に安らぐ 笑顔あり
ああ 登米市に安らぐ 笑顔あり

二 きよの暮らしも 礎みれば
気高い歴史 あつてこそ
進歩を楽しみ 古きに学び
手と手とりあう 町文化
ああ 登米市にゆかしき 浪漫あり
ああ 登米市にゆかしき 浪漫あり

三 明日にまっすぐ 理想を伸ばす
手本のような 杉木立
いのちを尊び 山河に抱かれ
愛が漲る わが郷土
ああ 登米市に未来の 息吹あり
ああ 登米市に未来の 息吹あり

スマホをかざすと、
登米市市民歌が
流れます

※使い方は2ページでご確認ください。



登米市民憲章

わたしたちは、豊かな自然環境に恵まれた水の里をいつまでも愛し、ふるさとの誇れる歴史と伝統文化を受け継ぎながら、世界に羽ばたく住みよい登米市をみんなでつくるために、この憲章を定めます。

- わたしたちは、夢や希望を持ち、生き生きとしたまちをつくります。
- わたしたちは、健康で働き、豊かなまちをつくります。
- わたしたちは、スポーツや文化に親しみ、明るいまちをつくります。

あふれる笑顔 豊かな自然

住みたいまち とめ

